

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立山王小学校		
実 施 期 間	平成25年11月17日(日)		
実 施 概 要	保護者・地域の方と共に農業体験 5月25日 田植え 9月21日 稲刈り 11月17日 感謝祭 収穫したもち米を使って餅つき体験をする。 地域の方から、餅についての話を聞く。 みんなで食する。 除草・脱穀等はPTA役員・職員で実施した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	33人	計 約 50人
	地域関係者	約 15人	
実 施 状 況	「どんぐりっ子水田」と命名した水田を借りて、PTA本部役員が中心となって、もち米を栽培している。 田植えは約50人の親子が参加して、全て手植えで行った。 稲刈りは約40人の親子が参加して、全て手で狩り稲架にほした。 今年は約104kgの収穫があった。 社会教育主事に、餅についての歴史や地域の文化について話をいただいた。 収穫したもち米を使い、5つのグループに分かれ臼と杵を使って親子で餅をついた。 つきたての餅を、準備しておいた「きな粉」「あんこ」「大根おろし」「砂糖醤油」を好みでつけて、PTA役員が準備した豚汁と共に、みんなで食べた。		
成果及び課題	○今年新たに、餅についての話を聞くことで、餅に込められた願いや、地域の文化を知る良い機会となった。 ○日頃お世話になっている地域の方を招くなどして、昨年よりも地域の方に多く参加していただくことができた。 ○保護者を含めて臼と杵で餅をつく機会がめったにないので、親子で体験をすることができたことに意義があった。 ○田植えと稲刈りの稲作の体験をすることで、食のありがたさを実感する事ができた。 △より多くの児童・保護者に参加してほしいが、少年団等の活動があることもあり、なかなか多く参加してもらえない。開催を知らなかったという子もいたので、広報のあり方を工夫したい。 △長寿会等、地域の方への呼びかけを更に広げていきたい。 △今後も、稲作等に関わった話を聞く機会を設けると共に、餅つき以外の簡単な活動も計画していきたい。		